

プロフィール	
活動地	広島県竹原市
団体名	竹原市ふれあい運動会実行委員会
活動名称	竹原市ふれあい運動会
PRポイント	支え合い 励まし合い 力を合わせて 体力アップ！！
連携している 団体等	高等学校、大学、NPO 法人、社会福祉法人、 企業・事業所、行政(保健・福祉部局、広報担当部局)、 その他(地域のボランティア団体)

功労者表彰
活動分野
スポーツ
主な対象
障害種問わず
団体の規模
委員 10名 事務局 3名

活動の説明	
①活動内容	<p>同運動会は、障害者のスポーツ交流と運動競技を通じて、支えあい、励ましあいながら、体力の維持増進を図ることを目的に実施しています。障害の有無や程度に関わらず、それぞれの体力等に応じて参加できるよう競技種目を工夫し、参加者は、この運動会を励みに、日々の体力増進を図る有効な手立てとなっています。</p> <p>障害の有無に関わらず 10代～80代まで幅広い年齢層が参加し、竹原市障害者自立支援協議会のマスコットキャラクター「かぐやパンダ」と一緒に「かぐやパンダ体操」をするなど、市内の障害者が参加するイベントとしては最大級のイベントとなっています。</p> <p>※かぐやパンダ体操・・・障害のある方もない方も一緒に運動できるように制作した独自の体操 (Youtube に動画あり)</p>
②活動の経緯・ 体制	<p>昭和 61 年に竹原市身体障害者福祉協会の主催で始まり、平成 11 年度以降は、同協会を含む実行委員会方式に変更となるものの、永年にわたり、竹原市の障害者のスポーツ交流、運動競技を通じた体力の維持促進の場となっています。</p> <p>竹原市社会福祉協議会が事務局を運営し、市内の障害福祉に関するほぼ全ての団体 (8 団体) が実行委員として参加。地元の高등학교、近隣大学、企業等との連携も行うなど、参加者数もボランティアスタッフを含めると、例年 200 名以上 (令和元年度実績 225 名) が参加しています。大会運営をスタッフだけが行うのではなく、障害者も自ら動き、可能な限り協力してできることを行い、障害者と健常者が互いに交流しながらも主体的に行動を起こすことができる運営を心掛けています。</p>
③活動の効果等	<p>参加者自身が能動的に自らの体力について考え、維持、向上を確認する貴重な機会となっており、これまで 34 年間継続した地域全体の恒例行事として定着しています。</p> <p>参加者は、様々な年代、業種の方が集まっており、障害のあるなしに関わらず、お互いの正しい理解を進めています。スタッフの高齢化が進んでいる現状がありますが、今後の持続可能な運営を目指し、新たなスタッフの連携先の開拓や競技内容の開発等に取り組み、より能動的な活動に発展していきたいと考えています。</p>

活動の様子	
	
競技「玉ころがし」	演技「かぐやパンダ体操」